

新型コロナウイルス関連感染症予防について

連日、新型コロナウイルス感染症についての報道がなされています。罹患された方々の回復のために祈るとともに、ウイルスの拡散防止と感染予防のために努めることの大切さを思います。

玉川聖学院でも、厚生労働省や世田谷区保健所からの指導や正しい情報収集を行い、適切な衛生管理と健康管理を促し、生徒が安全な学校生活を送ることができるように指導を行ってまいります。今回の感染症の感染経路は、感染者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスによる飛沫感染とウイルスが付着した手で口や鼻などを触れることによる接触感染が考えられています。この感染症の予防は、インフルエンザなどと同じ方法で予防していくことができます。

(1) 生徒には以下の指導を徹底させていただきます。

- ① 下足室入り口に除菌ポンプを設置し、登校したら「手の除菌」を行う。
- ② 学校生活ではせっけんを使って流水での手洗いを促す。
- ③ 授業を開始して15分から20分経ったところで、「給水タイム」を取り、授業担当している教師の指示のもと、それぞれ持参してきている水分を一口飲む。
- ④ 咳やくしゃみが出る人はマスクを着用する。

(2) 保護者の皆様には以下のご協力をお願いいたします。

- ① 発熱の際には、無理して登校させないようにしてください。
- ② 感染症にかからないための免疫力を高めるために、睡眠時間は7時間以上をお勧めします。
- ③ 給水用の水かお茶を持たせてください。
- ④ 来校の際には生徒と同じように入口の除菌スプレーをご使用ください。

尚、この3月に予定しておりました、海外の研修プログラム（崇義女子校ホームステイプログラム、バートン先生と行くミャンマーふれあいの旅）は中止といたしましたので、あわせてご報告いたします。

この新型コロナウイルスの感染が速やかに収束するようにと祈りつつ、保護者の皆様におかれましてもご理解、ご協力くださいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。